

教育方法4

学力差と教授・学習過程

I

能力差・学力差をどうとらえるか

一

教育における能力の原理について

二

発達のとらえ方

三

能力差のとらえ方—教授・学習過程の個別化と能力差

四

能力差と教材観

五

能力差問題の解決方向

II

学力差と授業形態

一

個人差への今日的アプローチと授業

二

教育の多様化ではなく一元化を

三

現代的学力観と授業個別化の問題

四

学力差に応ずる授業形態のあり方

五

学力差に応ずる教材編成

III

授業の個別化と集団化

一

教育の本質に基づく授業の三基本形

二

学級の形態・機能から見た授業の個別化と集団化

IV

学力差と授業実践

一

小集団学習に基づく英語学習指導

二

数学科の素学別指導について

日本教育方法学会第四回大会発表要旨

桑原 作次
宮本 雅之
佐野 正幸
安彦 忠彦
佐伯 正一

水越 敏行
佐藤 三郎
野村 新
高野 兼吉
大貫 晋範

山田 敏
河野 昌晴

板屋 秀夫
関 泰輔